

明治大学平和教育登戸研究所資料館
第6回企画展「NOBORITO 1945」関連イベント

元登戸研究所関係者による証言会
—1945年の登戸研究所—

2015年10月24日（土）

会場：明治大学生田キャンパス中央校舎6階メディアホール

証言者（証言順）

元陸軍登戸研究所第四科第一班勤務員

栗山 武雄 氏

元陸軍登戸研究所第三科勤務員

正地 次男 氏

元陸軍登戸研究所第四科第二班勤務員

會津 保進 氏

元陸軍兵器行政本部制式課タイピスト

三上 峰緒 氏

インタビュアー

明治大学講師

渡辺 賢二

明治大学文学部教授

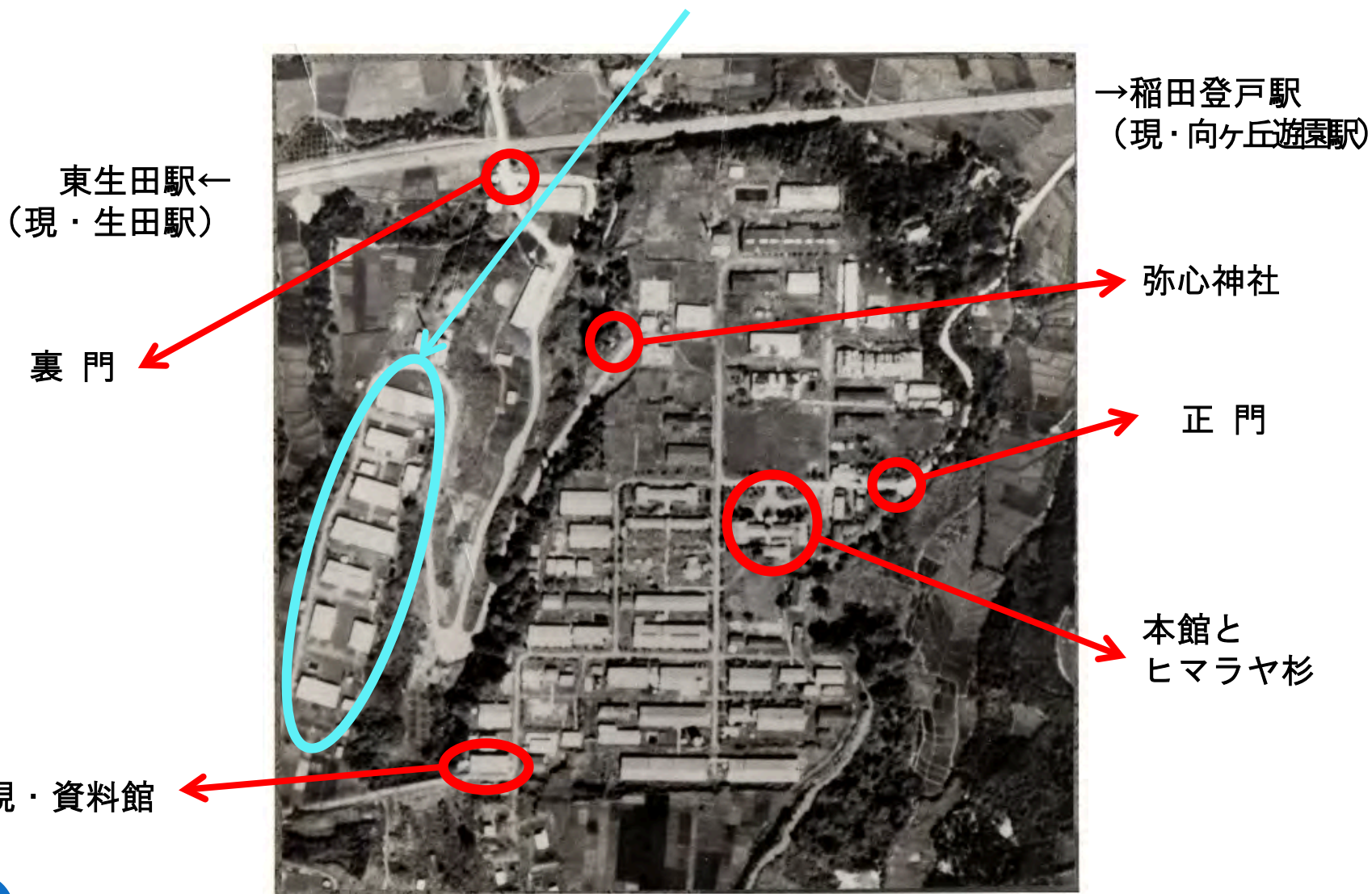
明治大学平和教育登戸研究所資料館館長

山田 朗

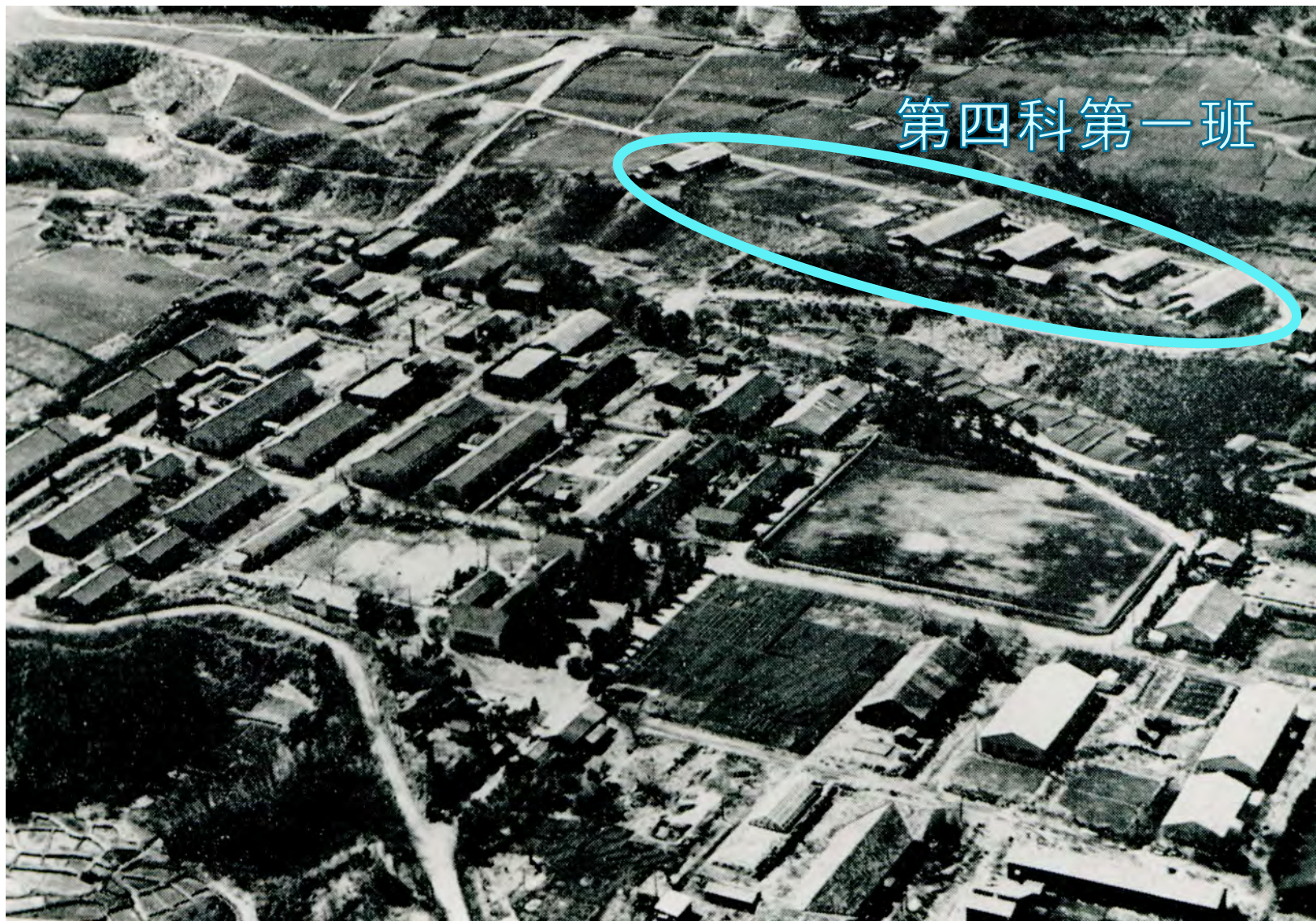
元陸軍登戸研究所第四科第一班勤務員
栗 山 武 雄 氏

1941年から少年工員として登戸研究所の機械工場に勤務。
1945年の春ごろから兵庫県・小川村への疎開作業にも携わり、小川村にて終戦を迎えた。

登戸研究所第四科第一班



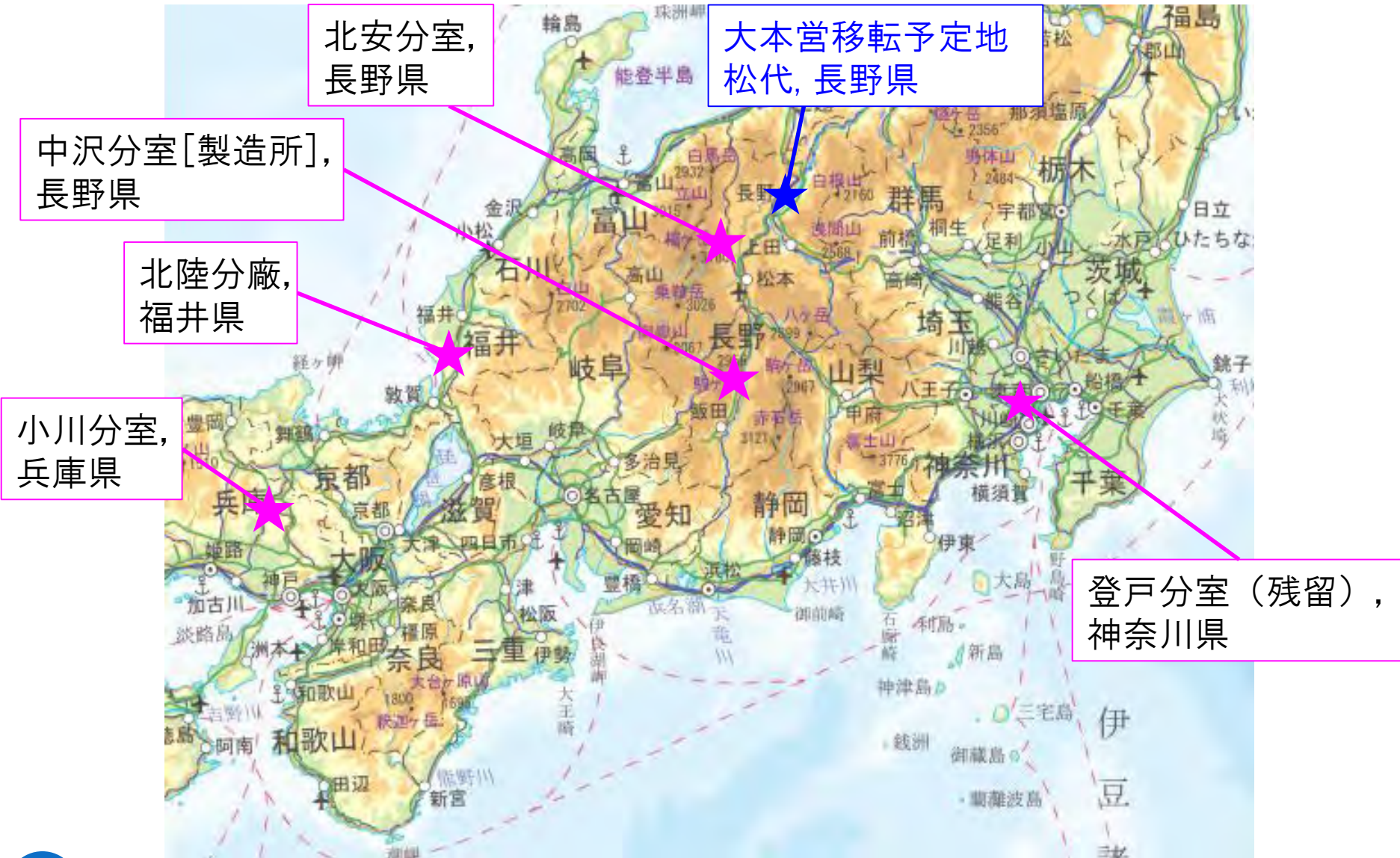
1954年頃の登戸研究所跡（明治大学生田校舎他）



登戸研究所の各疎開先



登戸研究所の各疎開先（拡大）



現在の谷川駅



旧公民館（小川分室本部跡）



渡辺賢二先生撮影（2000年頃）

小川小学校（登戸研究所工場跡）

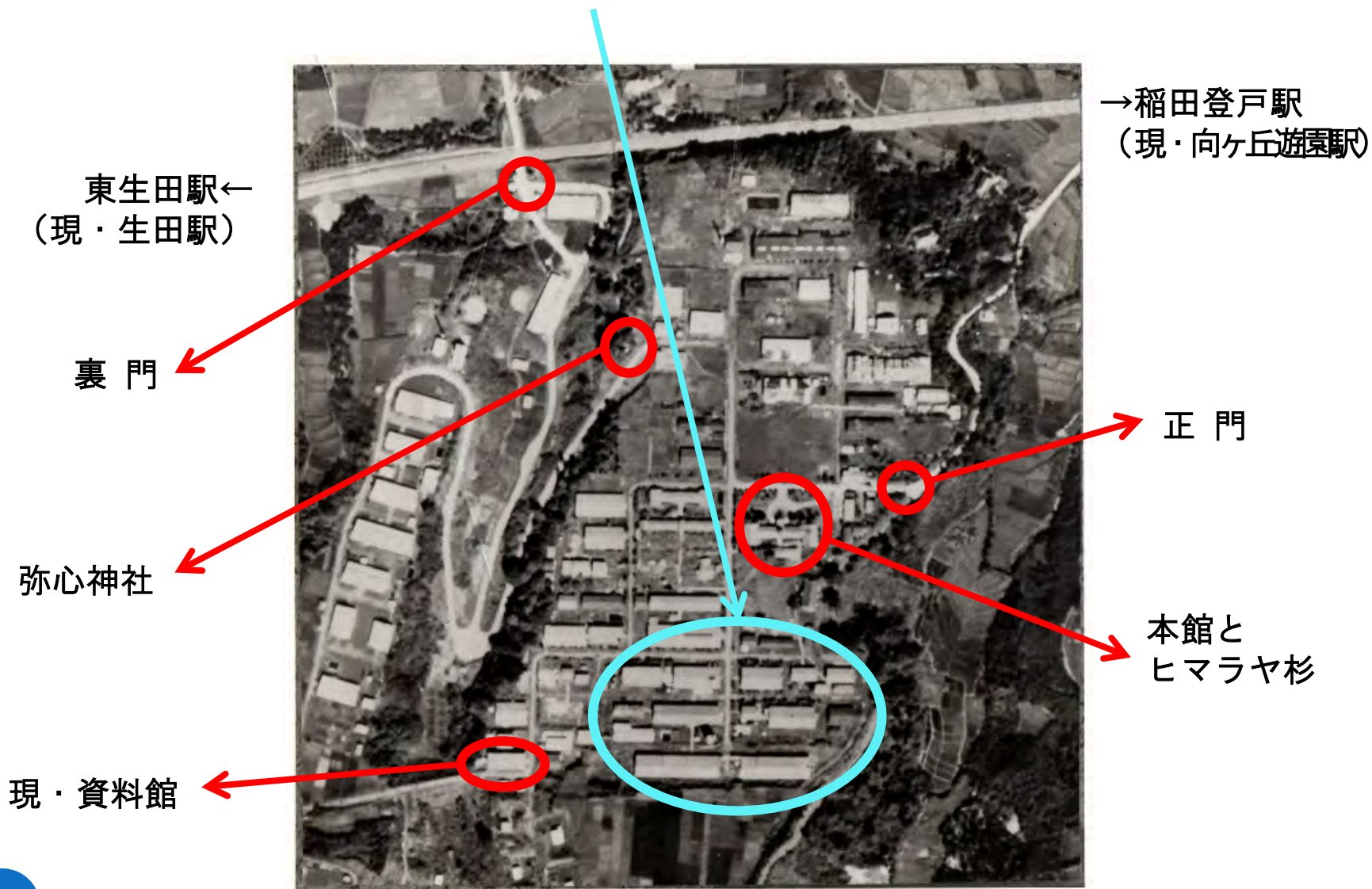


元陸軍登戸研究所第三科勤務員

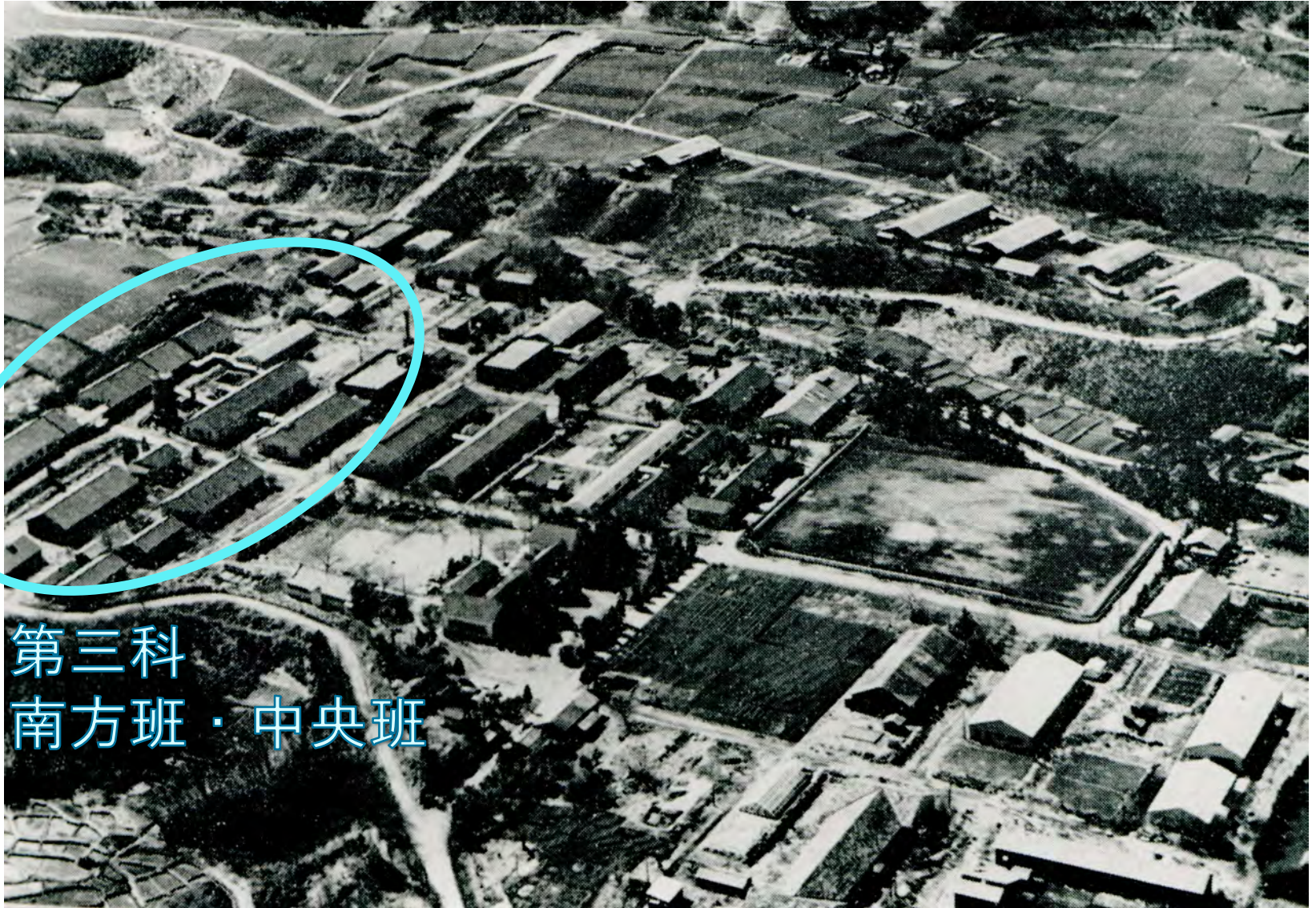
正 地 次 男 氏

1939年から15歳で登戸研究所の偽札製造作業に従事。
以来，敗戦後の偽札製造の証拠隠滅作業を含めた残務整理
終了までの約7年間勤務した。

登戸研究所第三科（南方班・中央班）



1954年頃の登戸研究所跡（明治大学生田校舎他）



第三科
南方班・中央班

登戸研究所で 製造していた偽札



渡辺賢二氏提供



出典：山本憲蔵『陸軍贋札作戦』

第三科科长 山本憲蔵



第三科南方班班長 川原広真



大島康弘氏提供

上海特務機関（阪田機関） 機関長 阪田^{しげ}誠^{もり}盛 [中央の人物]



香港接收時の写真



第三科若手勤務員たち①



第三科若手勤務員たち②



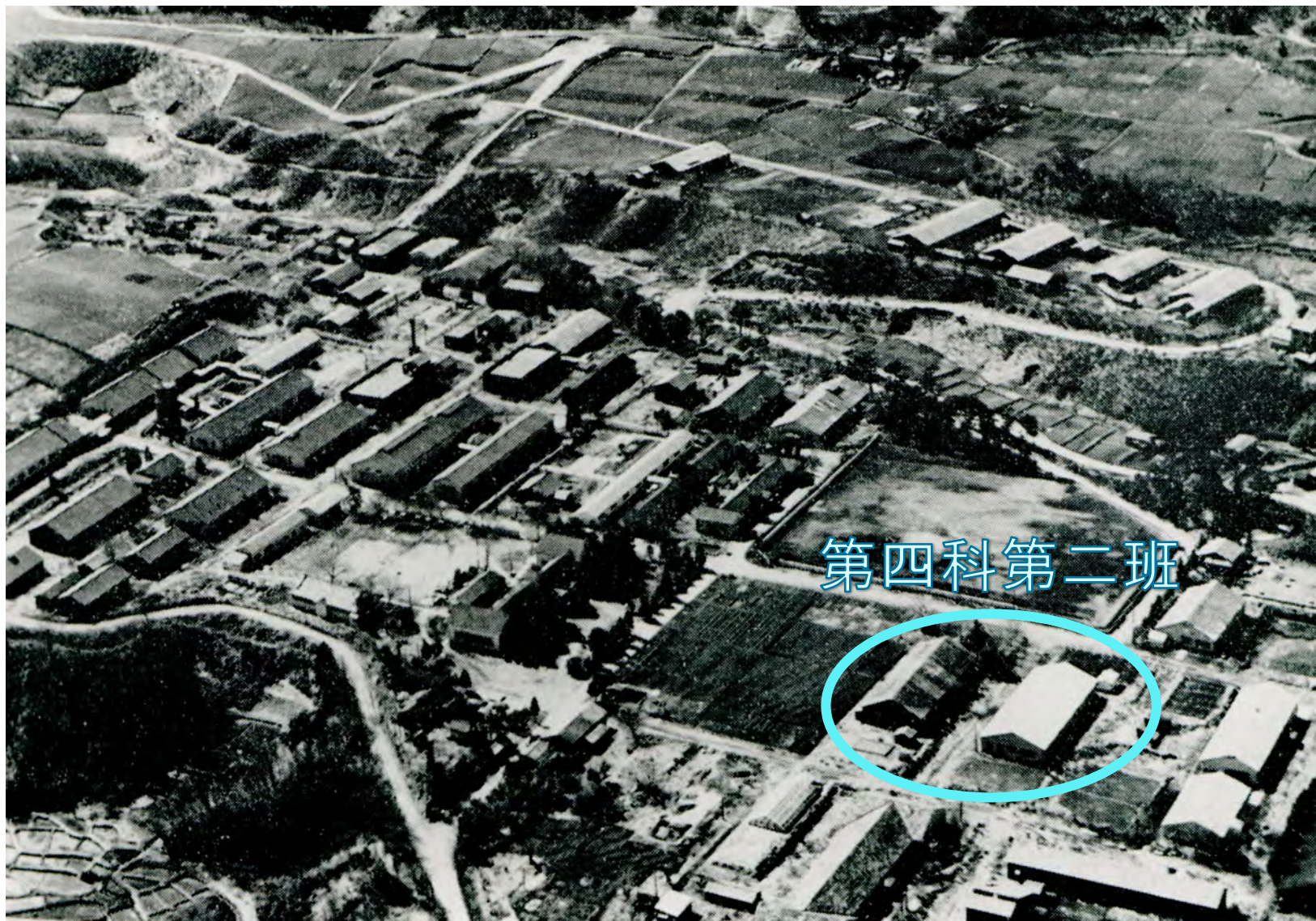
元陸軍登戸研究所第四科第二班勤務員
會 津 保 進 氏

1944年から14歳で少年工員として登戸研究所に勤務。
1945年まで、主に爆弾に火薬を詰める工程や、敗戦後の
登戸での証拠隠滅作業に携わる。火薬の材料などについ
ては知らされていなかった。

登戸研究所第四科第二班



1954年頃の登戸研究所跡（明治大学生田校舎他）



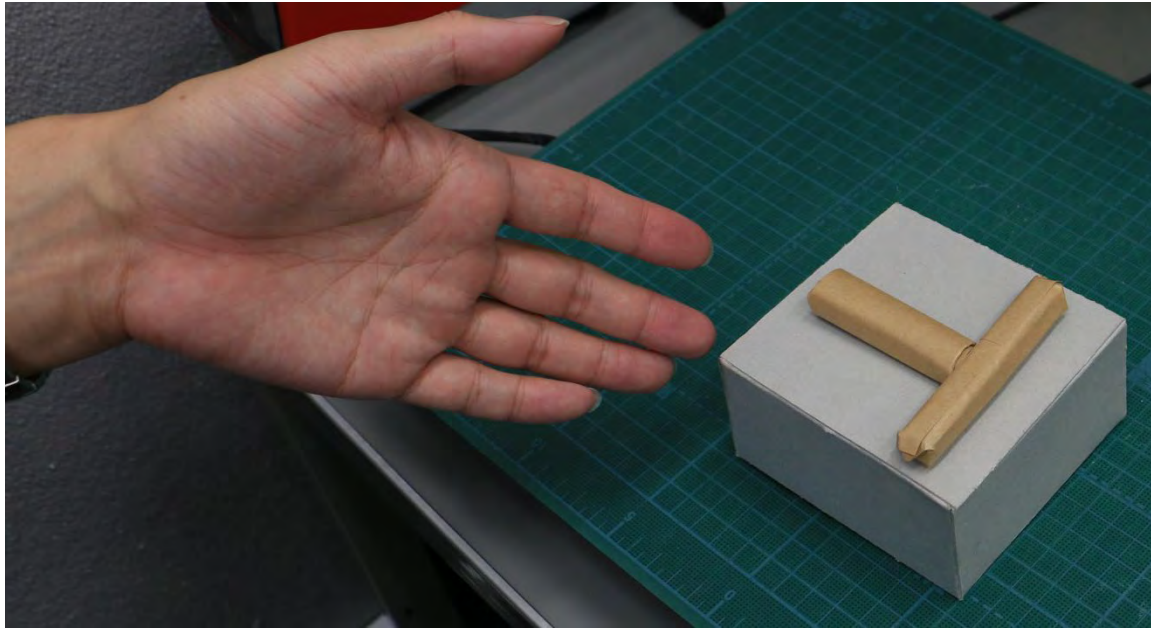
第四科第二班

少年工員
(15歳ごろ)



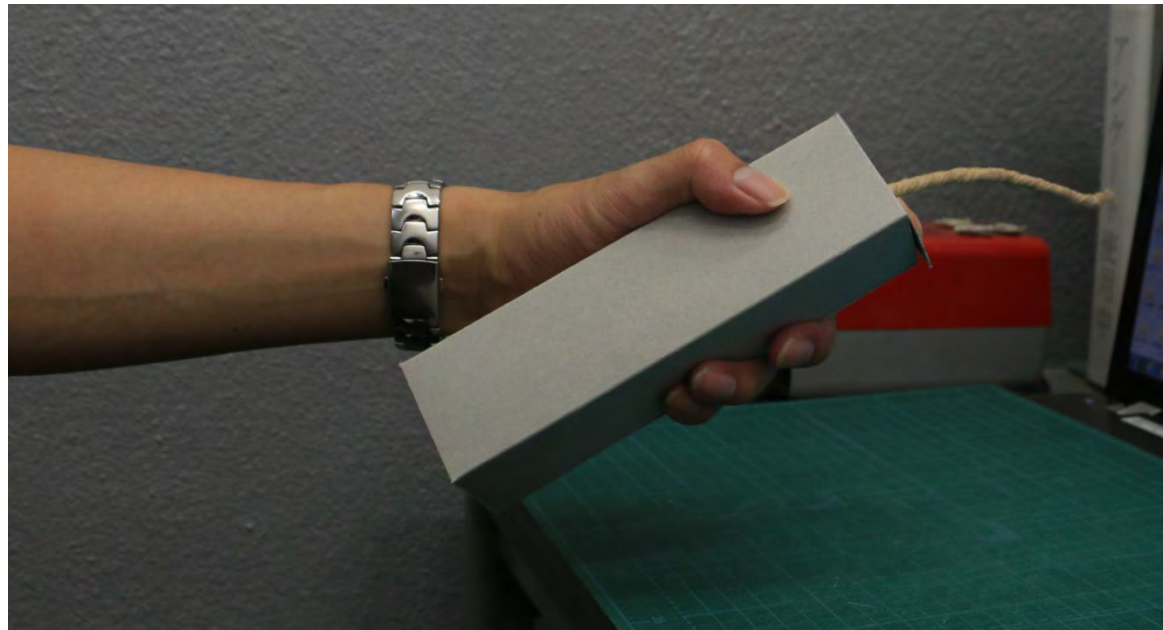
登戸研究所勤務工員の「の」の字バッヂ





焼夷剤模型

爆弾模型



現在の倉庫跡（資料館裏手）



元陸軍兵器行政本部制式課タイピスト
三 上 峰 緒 氏

1942年よりタイピストとして元陸軍兵器行政本部制式課に勤務。1945年5月以降，登戸研究所の場所へ兵器行政本部とともに疎開をする。

登戸研究所内へ疎開した兵器行政本部制式課

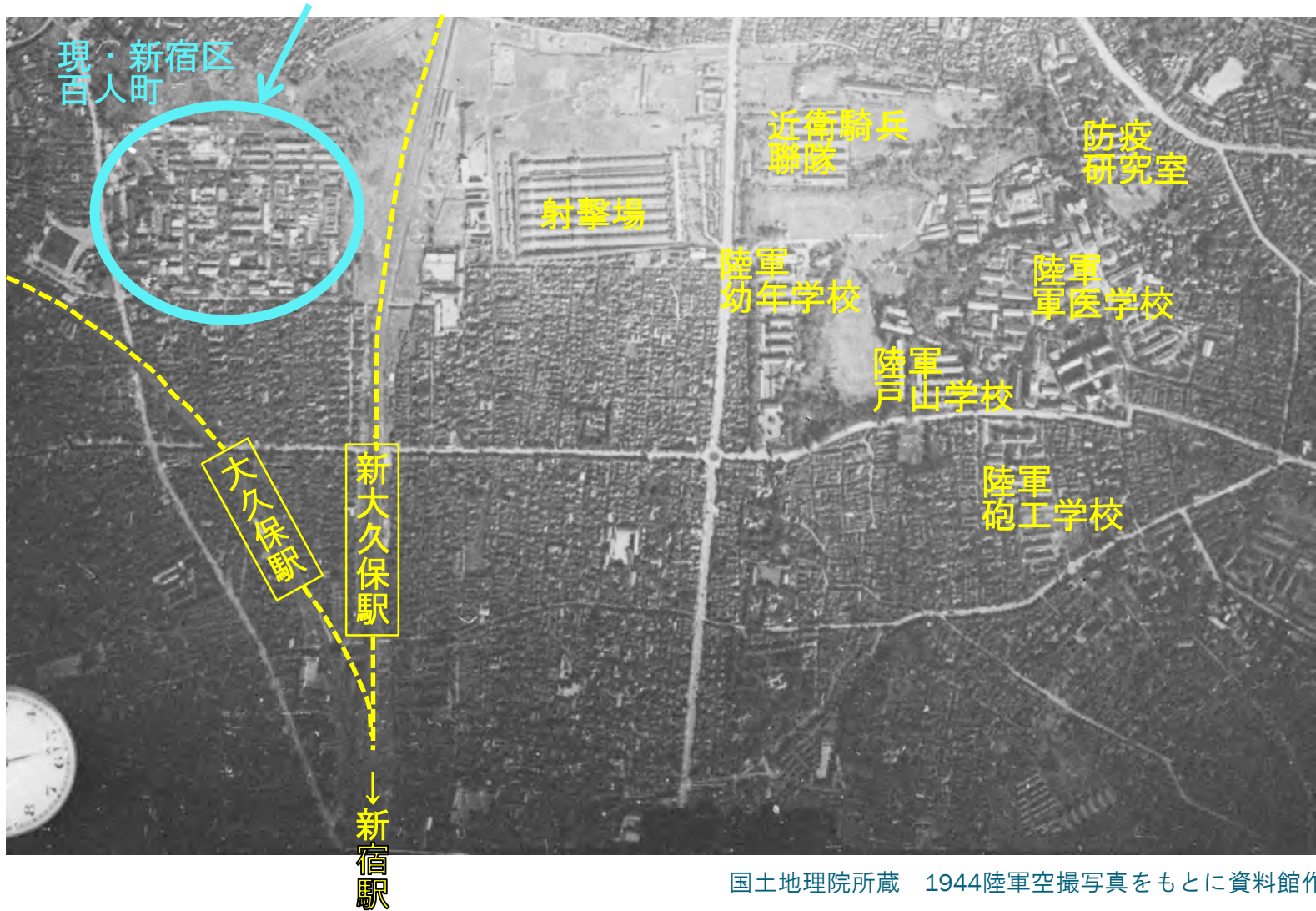


1954年頃の登戸研究所跡（明治大学生田校舎他）



陸軍兵器行政本部
疎開場所

戸山ヶ原の陸軍兵器行政本部



国土地理院所蔵 1944陸軍空撮写真をもとに資料館作成

陸軍兵器行政本部時代の写真



解雇証明書

解雇証明書									
伊藤美枝子									
右之者昭和二十年八月二十七日依願当部テ解雇シラルコトヲ證明ス									
昭和二十年八月二十七日									
陸軍兵器行政本部技術部									
陸軍									